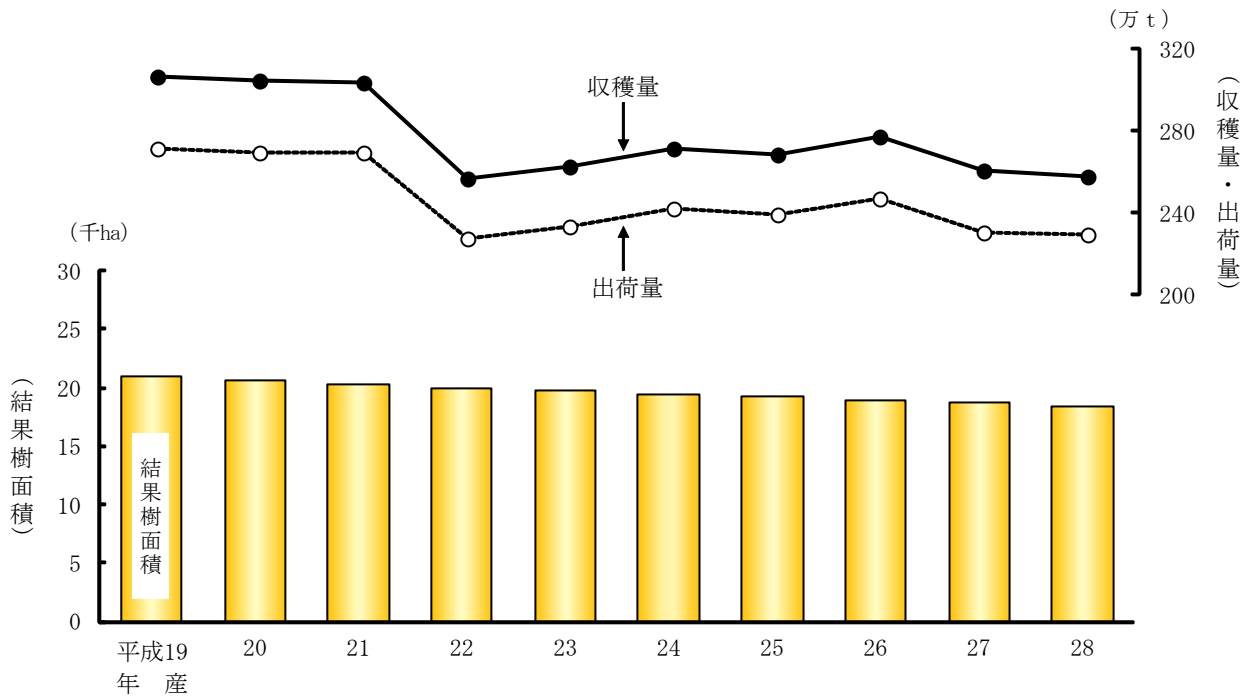


1 平成28年産果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の動向

平成28年産果樹の結果樹面積は18万4,900haで、前年産に比べ2,600ha（1％）減少した。

収穫量は257万5,000 t、出荷量は229万1,000 t で、前年産に比べそれぞれ2万8,000 t（1％）、1万5,000 t（1％）減少した。

図1 果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の推移



注：1 パインアップルは、沖縄県のための数値である。
2 パインアップルは、収穫面積である。

表1 平成28年産果樹の結果樹面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	2) 対前年産比			
					結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
計	184,900	...	2,575,000	2,291,000	99	nc	99	99
みかん	41,500	1,940	805,100	717,500	97	95	92	92
りんご	36,800	2,080	765,000	684,900	99	95	94	94
日本なし	12,100	2,040	247,100	227,600	98	103	100	100
西洋なし	1,510	2,050	31,000	27,300	100	106	106	106
かき	20,400	1,140	232,900	191,500	98	98	96	96
びわ	1,330	150	2,000	1,620	95	59	56	56
もも	9,710	1,310	127,300	116,600	100	104	104	105
すもも	2,840	810	23,000	20,100	99	109	108	108
おうとう	4,420	448	19,800	17,700	100	110	109	109
うめ	15,600	594	92,700	80,800	98	96	95	95
ぶどう	17,000	1,050	179,200	163,800	99	99	99	99
くり	19,300	85	16,500	12,100	97	104	101	103
1) パインアップル	316	2,460	7,770	7,580	102	100	101	101
キウイフルーツ	2,040	1,250	25,600	21,800	98	94	92	92

注： 1)は、沖縄県のための数値である。また、結果樹面積は収穫面積である。
2)のみかんは、果実数が増える年（表年）と減る年（裏年）とが交互に発生する現象（隔年結果）が顕著であり、平成28年産は裏年であることから対前年産比については前の裏年（平成26年産）を行った。

2 品目別の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量

(1) みかん

ア 結果樹面積

結果樹面積は4万1,500haで、前年産に比べ700ha（2%）減少した。

なお、前の裏年である平成26年産に比べると1,400ha（3%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,940kgで、平成26年産に比べ100kg（5%）下回った。

これは、早生温州において7月から8月にかけての高温・少雨の影響により果実肥大が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は80万5,100t、出荷量は71万7,500tで、腐敗果の発生等のため作柄の悪かった前年産に比べそれぞれ2万7,300t（4%）、3万3,600t（5%）増加した。

なお、平成26年産に比べると、それぞれ6万9,600t（8%）、6万4,500t（8%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が20%、愛媛県が16%、静岡県が15%となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、早生温州が約6割を占めている。

図2 みかんの結果樹面積及び収穫量の推移

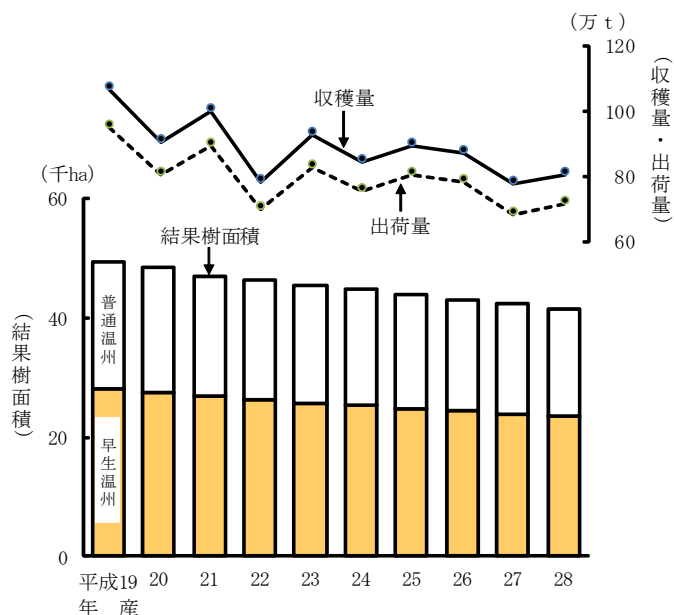
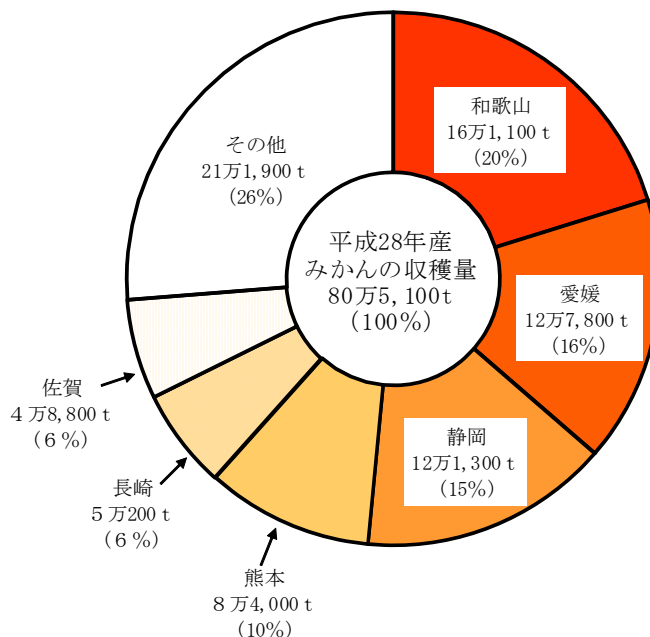


図3 みかんの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表2 平成28年産みかんの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目・品種	結果樹面積 ha	10a当たり収 kg	収穫量		出荷量 t	対27年産比		対26年産比			
			実数 t	割合 %		結果樹面積 %	結果樹面積 %	10a当たり収 %	収穫量 %	出荷量 %	
みかん	41,500	1,940	805,100	100	717,500	98	97	95	92	92	
早生温州	23,400	1,950	456,200	57	411,800	98	96	92	89	88	
うち極早生みかん	7,130	1,770	126,100	16	114,600	96	92	87	80	80	
ハウスみかん	435	4,850	21,100	3	20,000	95	90	99	89	90	
普通温州	18,100	1,930	348,900	43	305,700	99	97	99	97	97	

注： 平成28年産は裏年であることから、統計結果の対比については、結果樹面積は前年産（平成27年産）及び前々年産（平成26年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前の裏年である前々年産（平成26年産）と行った。

(2) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万6,800haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,080kgで、前年産に比べ110kg（5%）下回った。

これは、開花期における低温の影響で着果数が少なかったことと、6月の日照不足及び8月の少雨の影響で果実の肥大が抑制されたためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は76万5,000t、出荷量は68万4,900tで、前年産に比べそれぞれ4万6,500t（6%）、4万2,800t（6%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が59%、長野県が19%となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

品種別にみた収穫量割合は、ふじが約5割を占めている。

図4 りんごの結果樹面積及び収穫量の推移

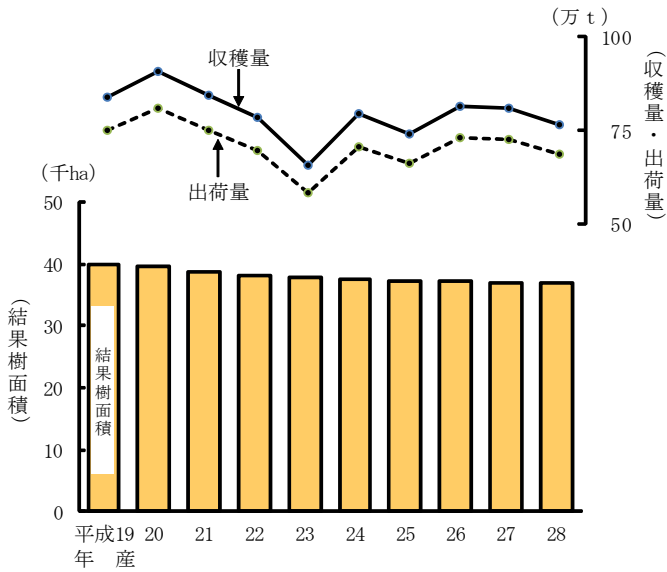
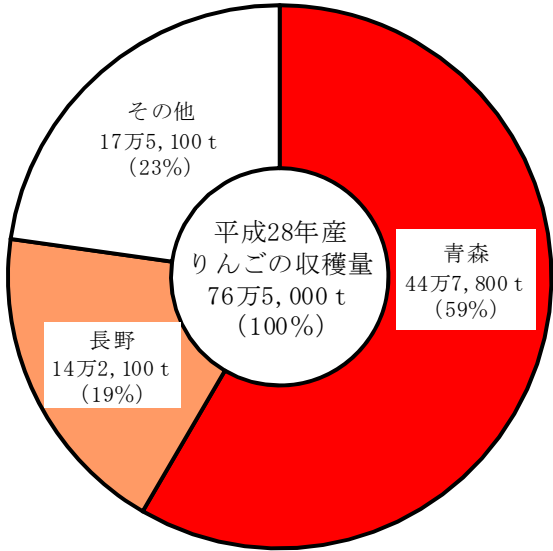


図5 りんごの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表3 平成28年産りんごの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目 ・ 品 種	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量		出 荷 量	対 前 年 産 比			
			実数	割合		結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
り ん ご	36,800	2,080	765,000	100	684,900	99	95	94	94
うち ふ じ	19,000	2,140	406,600	53	364,900	99	95	94	94
つ が る	4,750	1,690	80,200	10	70,800	99	91	89	89
王 林	2,870	1,960	56,200	7	50,400	98	93	92	92
ジョナゴールド	2,590	2,110	54,700	7	49,700	99	98	97	97

(3) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万2,100haで、前年産に比べ300ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,040kgで、前年産に比べ50kg（3％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は24万7,100t、出荷量は22万7,600tで、ともに前年産並となった。

都道府県別の収穫量割合は、千葉県が13％、茨城県が10％、栃木県、福島県及び鳥取県がそれぞれ8％、長野県が6％となっている。

図6 日本なしの結果樹面積及び収穫量の推移

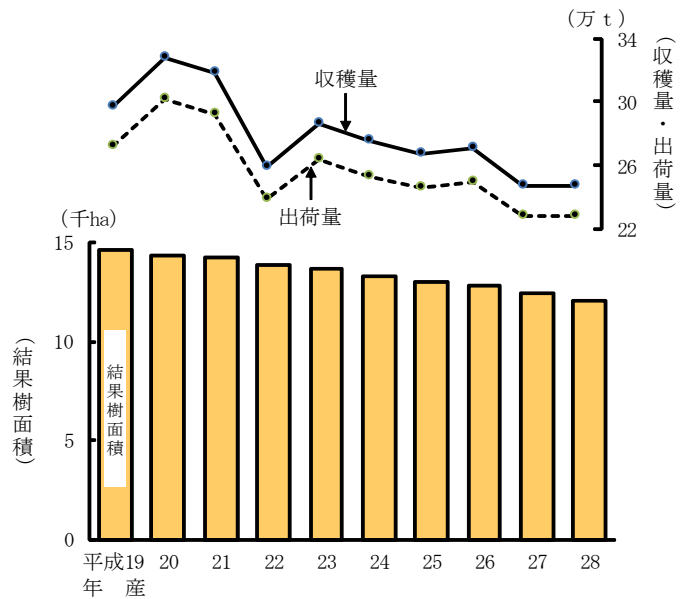


図7 日本なしの都道府県別収穫量

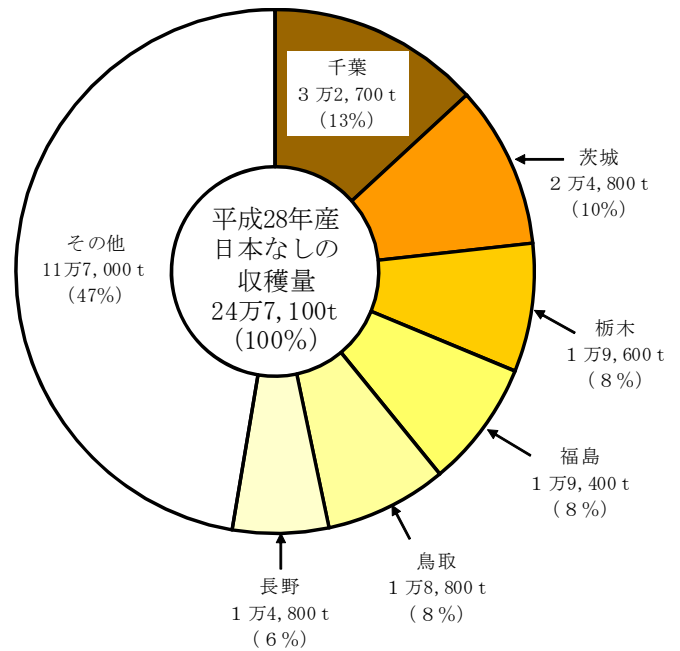


表4 平成28年産日本なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日 本 な し	12,100	2,040	247,100	227,600	98	103	100	100

(4) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,510haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,050kgで、前年産に比べ120kg（6％）上回った。

これは、山形県において開花期の天候に恵まれ着果数が多かったことに加え、果実の肥大も良好だったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3万1,000t、出荷量は2万7,300tで、前年産に比べそれぞれ1,800t（6％）、1,600t（6％）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図8 西洋なしの結果樹面積及び収穫量の推移

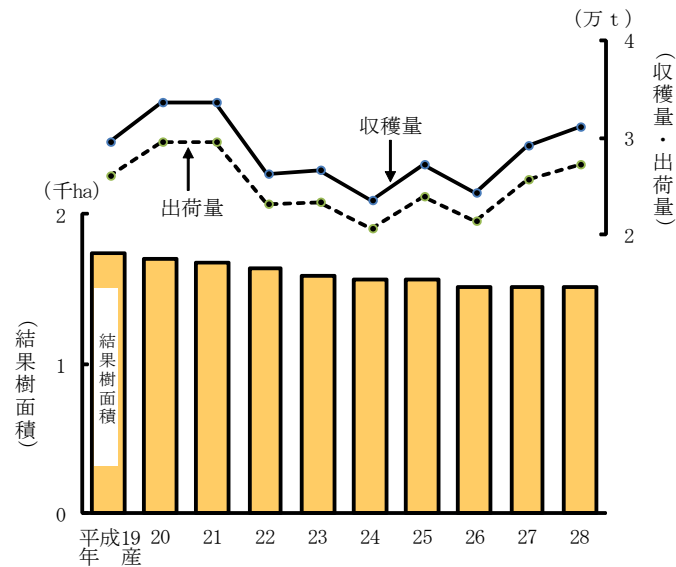
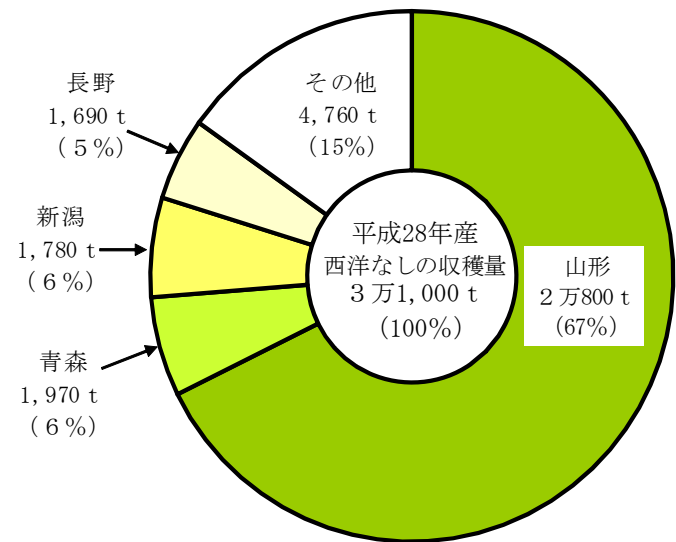


図9 西洋なしの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表5 平成28年産西洋なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西 洋 な し	1,510	2,050	31,000	27,300	100	106	106	106

(5) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は2万400haで、前年産に比べ400ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,140kgで、前年産に比べ20kg（2％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は23万2,900t、出荷量は19万1,500tで、前年産に比べそれぞれ9,100t（4％）、7,100t（4％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が20％、奈良県が15％、福岡県、岐阜県及び愛知県がそれぞれ7％となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図10 かきの結果樹面積及び収穫量の推移

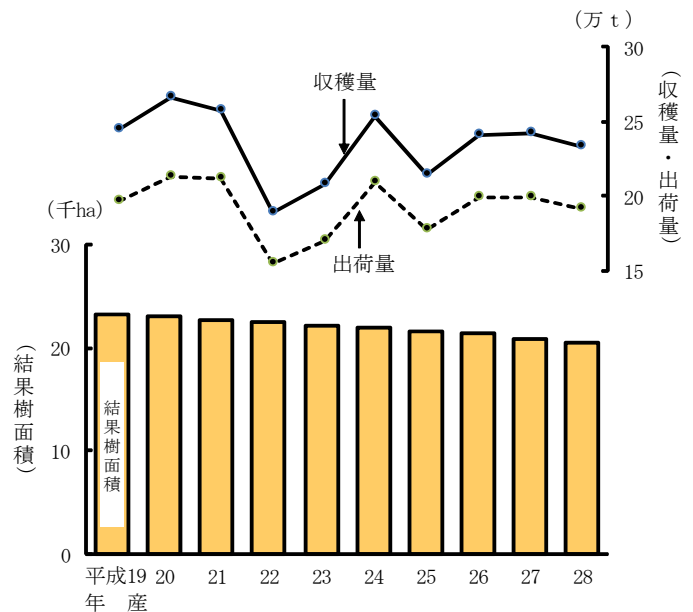
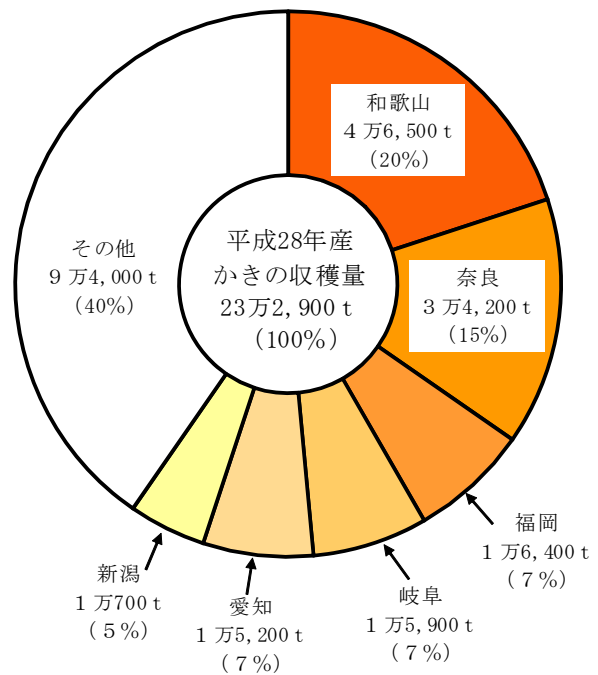


図11 かきの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表6 平成28年産かきの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
か き	20,400	1,140	232,900	191,500	98	98	96	96

(6) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,330haで、前年産に比べ70ha（5％）減少した。
これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は150kgで、前年産に比べ105kg（41％）下回った。
これは、1月下旬の低温及び降雪の影響により果実の凍死があったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2,000 t、出荷量は1,620 tで、前年産に比べそれぞれ1,570 t（44％）、1,280 t（44％）減少した。
都道府県別の収穫量割合は、長崎県が24％、千葉県が22％、香川県が12％となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図12 びわの結果樹面積及び収穫量の推移

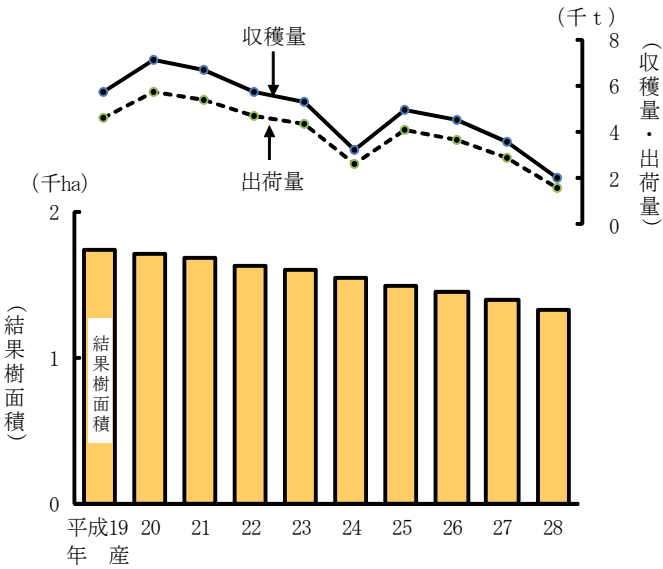
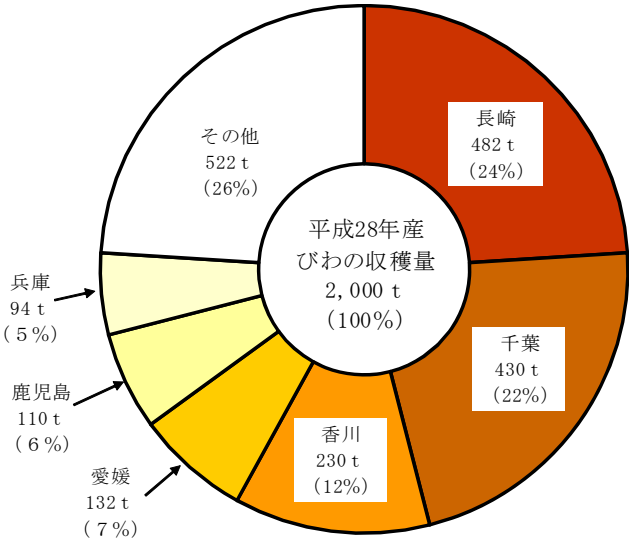


図13 びわの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 7 平成28年産びわの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
び わ	1,330	150	2,000	1,620	95	59	56	56

(7) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は9,710haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,310kgで、前年産に比べ50kg（4％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は12万7,300 t、出荷量は11万6,600 tで、前年産に比べそれぞれ5,400 t（4％）、5,200 t（5％）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が31％、福島県が23％、長野県が13％となっており、この3県で全国の約7割を占めている。

図14 ももの結果樹面積及び収穫量の推移

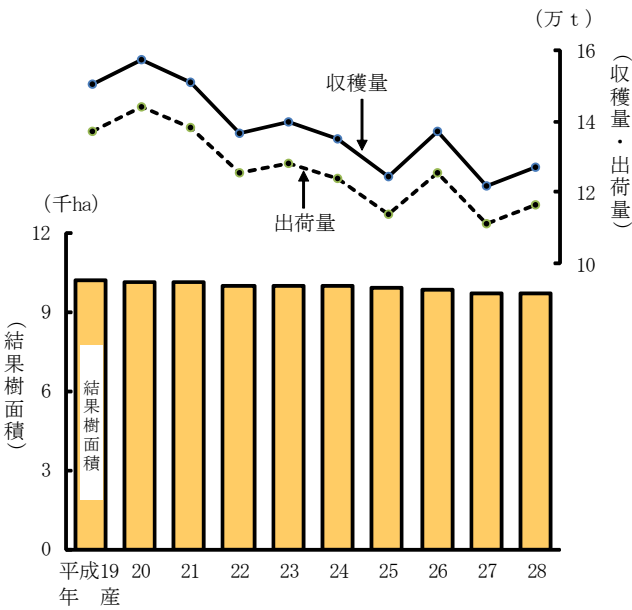


図15 ももの都道府県別収穫量

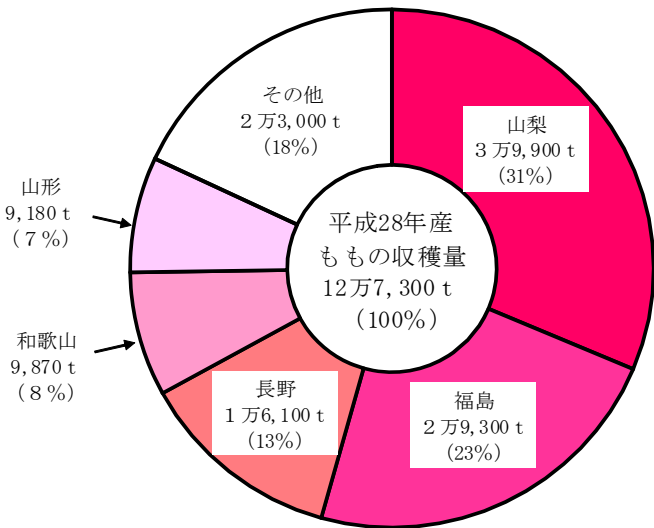


表 8 平成28年産ももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
も も	9,710	1,310	127,300	116,600	100	104	104	105

(8) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,840haで、前年産に比べ40ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は810kgで、前年産に比べ70kg（9％）上回った。

これは、生育期間を通じておおむね天候に恵まれ、果実の肥大が良好だったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万3,000t、出荷量は2万100tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（8％）、1,500t（8％）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が35％、長野県が15％、和歌山県が11％となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図16 すももの結果樹面積及び収穫量の推移

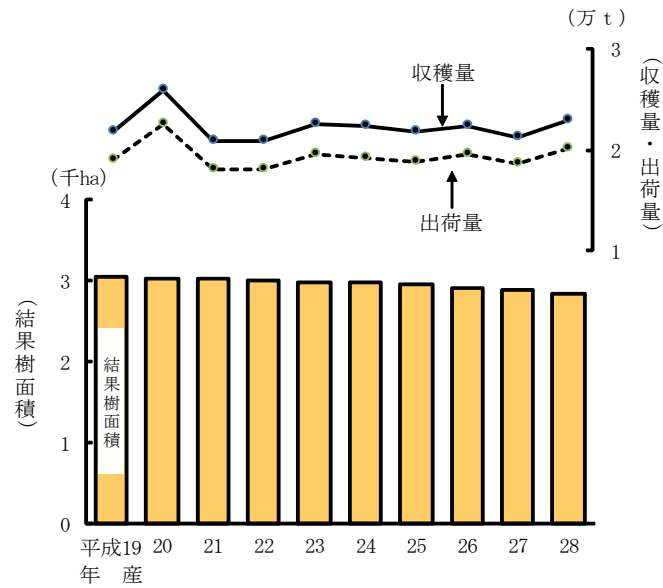
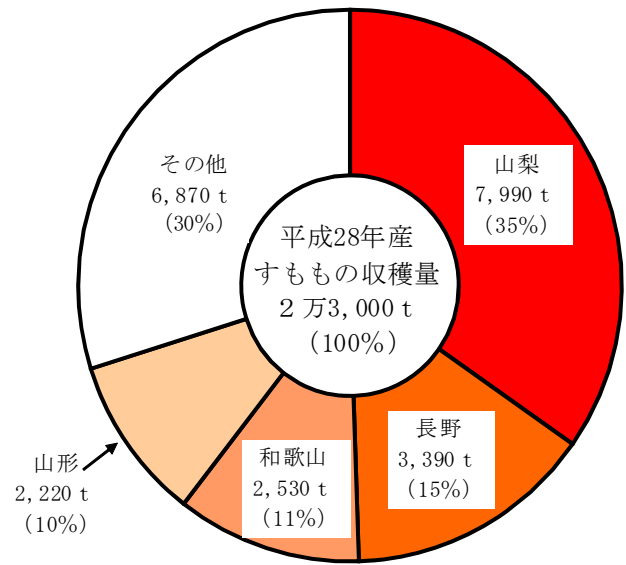


図17 すももの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表9 平成28年産すももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
す も も	2,840	810	23,000	20,100	99	109	108	108

(9) おうとう

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,420haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は448kgで、前年産に比べ40kg（10%）上回った。

これは、山形県において、開花期の天候に恵まれ着果数が多かったこと、生育期間の適度な降雨により果実の肥大が良好だったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万9,800t、出荷量は1万7,700tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（9%）、1,400t（9%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約8割を占めている。

図18 おうとうの結果樹面積及び収穫量の推移

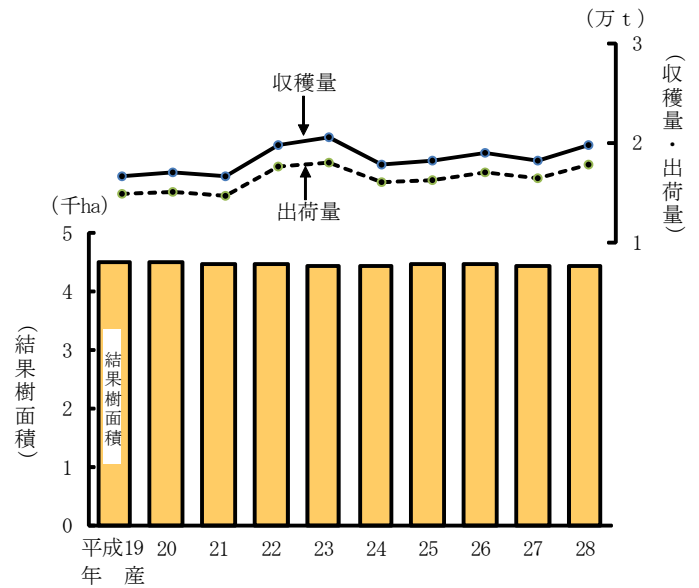


図19 おうとうの都道府県別収穫量

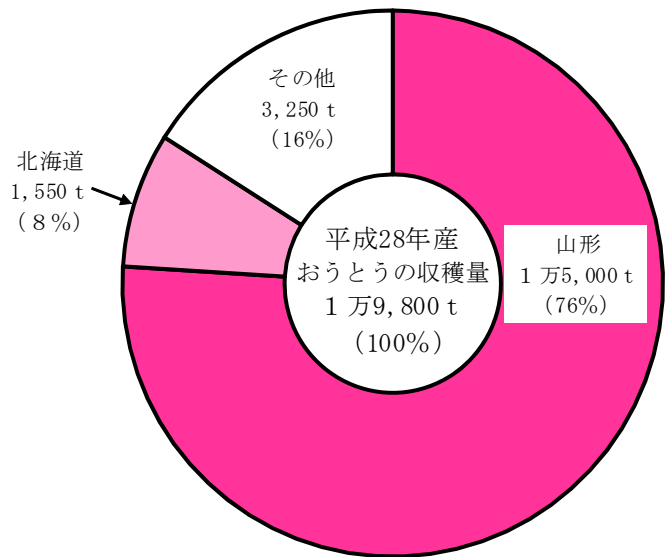


表10 平成28年産おうとうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
お う と う	4,420	448	19,800	17,700	100	110	109	109

(10) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万5,600haで、前年産に比べ300ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は594kgで、前年産に比べ22kg（4％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は9万2,700t、出荷量は8万800tで、前年産に比べそれぞれ5,200t（5％）、4,200t（5％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約7割を占めている。

図20 うめの結果樹面積及び収穫量の推移

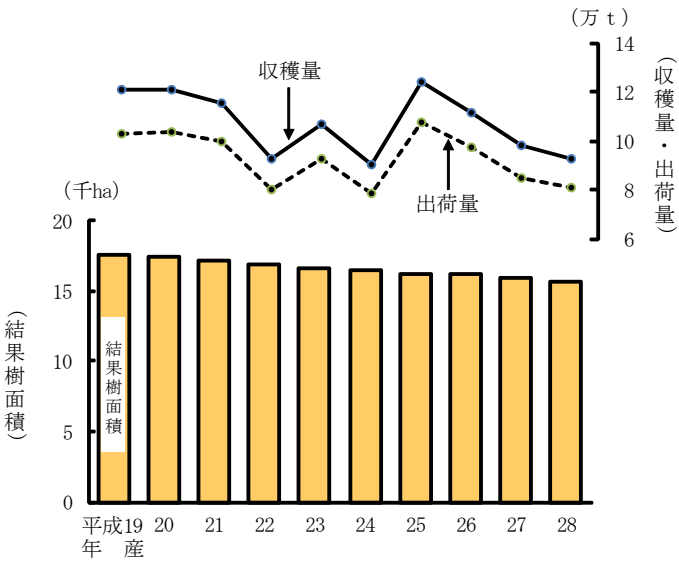


図21 うめの都道府県別収穫量

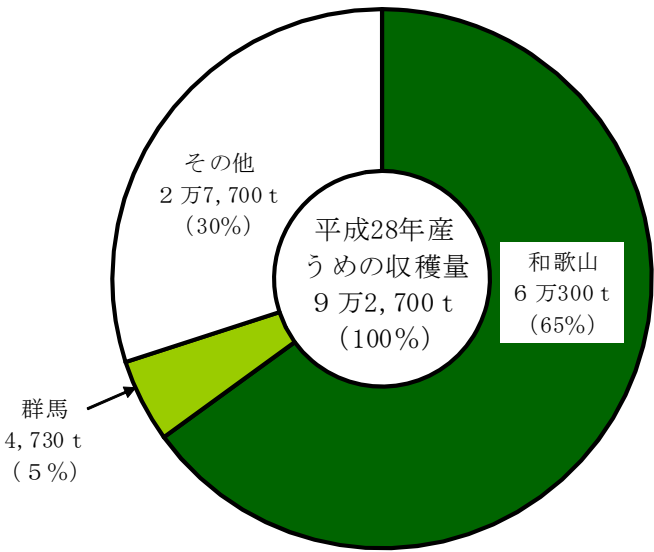


表11 平成28年産うめの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
う め	15,600	594	92,700	80,800	98	96	95	95

(11) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万7,000haで、前年産に比べ100ha（1％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,050kgで、前年産に比べ10kg（1％）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は17万9,200t、出荷量は16万3,800tで、前年産に比べそれぞれ1,300t（1％）、1,400t（1％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が24％、長野県が16％、山形県が10％となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図22 ぶどうの結果樹面積及び収穫量の推移

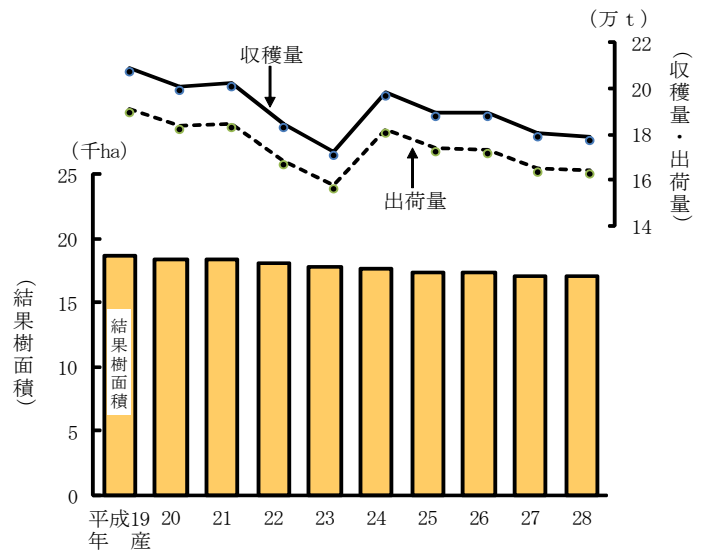
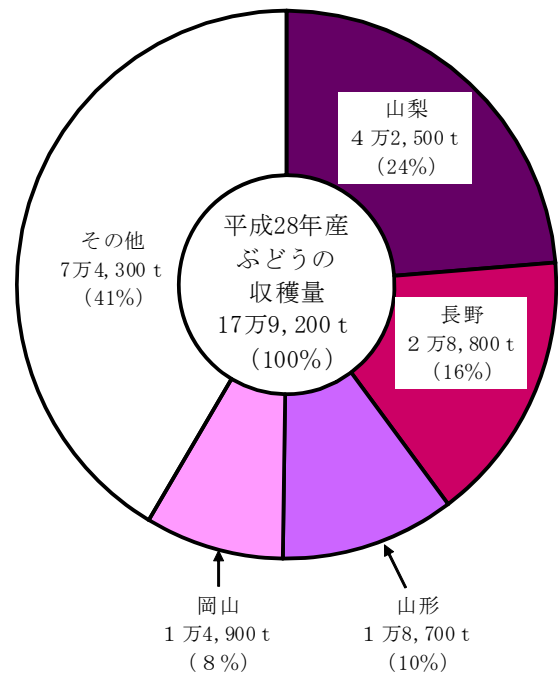


図23 ぶどうの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表12 平成28年産ぶどうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶ ど う	17,000	1,050	179,200	163,800	99	99	99	99

(12) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万9,300haで、前年産に比べ500ha（3％）減少した。
これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は85kgで、前年産に比べ3kg（4％）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万6,500t、出荷量は1万2,100tで、前年産に比べそれぞれ200t（1％）、300t（3％）増加した。
都道府県別の収穫量割合は、茨城県が23％、熊本県が13％、愛媛県が10％、岐阜県が5％となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図24 くりの結果樹面積及び収穫量の推移

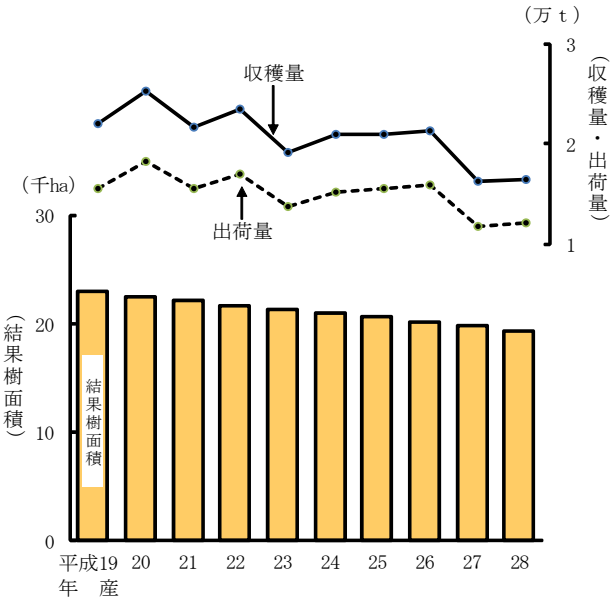
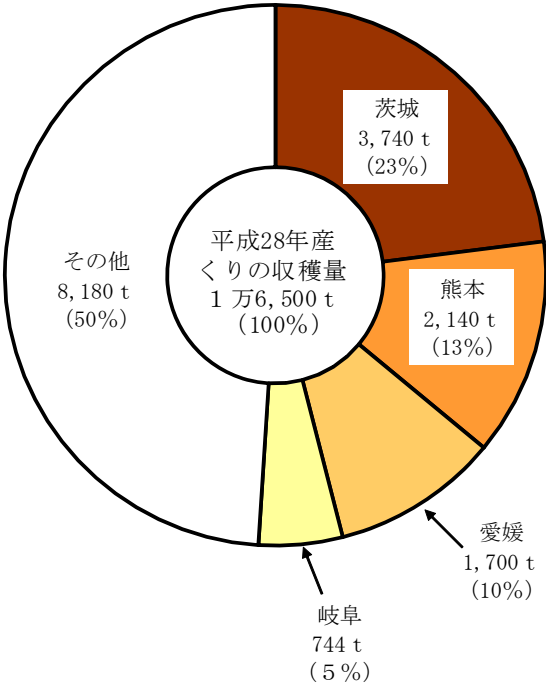


図25 くりの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表13 平成28年産くりの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
く り	19,300	85	16,500	12,100	97	104	101	103

(13) パインアップル（沖縄県）

図26 パインアップルの収穫面積及び収穫量の推移

ア 収穫面積

収穫面積は316haで、前年産に比べ6 ha（2％）増加した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は2,460kgで、前年産並みとなった。

これは、沖縄本島において果実肥大期の天候に恵まれ、果実肥大が良好であったものの、八重山地域では台風の影響等により生育不良となり、果実肥大が抑制されたためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は7,770 t、出荷量は7,580 tで、前年産に比べそれぞれ110 t（1％）、80 t（1％）増加した。

出荷量を用途別にみると、生食向けは4,880 t（64％）、加工向けは2,700 t（36％）となっている。

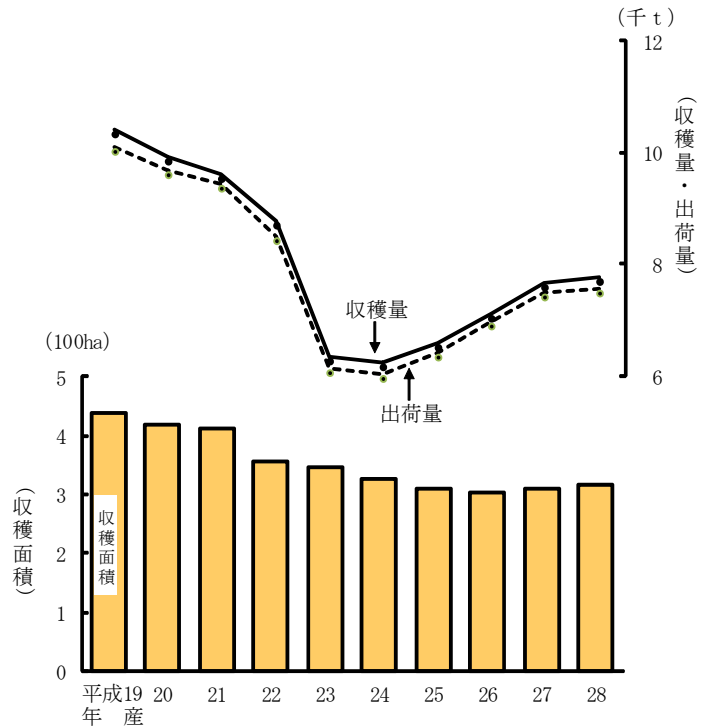


図27 パインアップルの用途別出荷量（沖縄県）

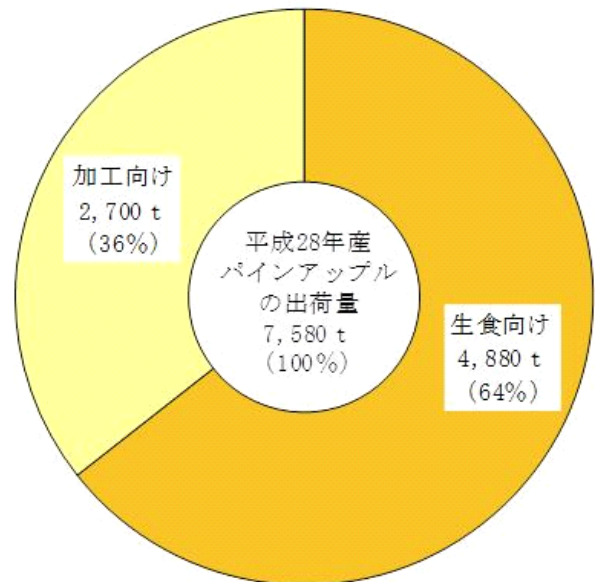


表14 平成28年産パインアップルの収穫面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（沖縄県）

品 目	収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					収穫面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
パインアップル	316	2,460	7,770	7,580	102	100	101	101

(14) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,040haで、前年産に比べ50ha（2％）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,250kgで、前年産に比べ80kg（6％）下回った。

これは、開花期の降雨の影響により着果数が少なかったことに加え、7月中旬から8月にかけて少雨の影響により果実の肥大が抑制されたこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万5,600t、出荷量は2万1,800tで、前年産に比べそれぞれ2,200t（8％）、2,000t（8％）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が20％、福岡県が16％、和歌山県が15％となっており、この3県で全国の約5割を占めている。

図27 キウイフルーツの結果樹面積及び収穫量の推移

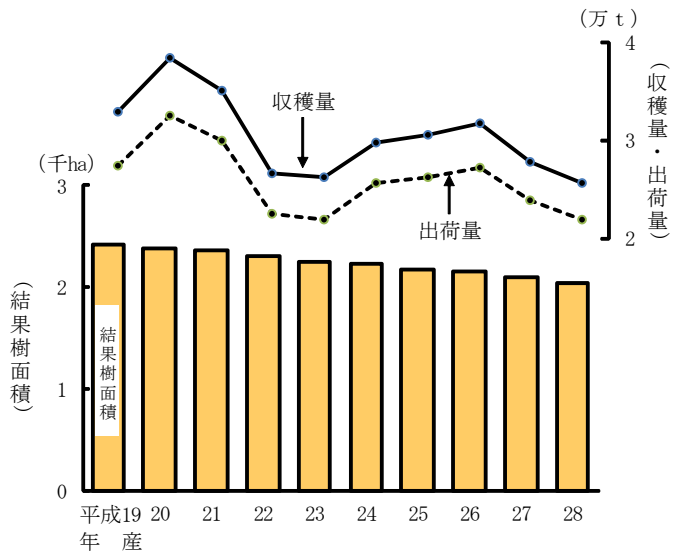
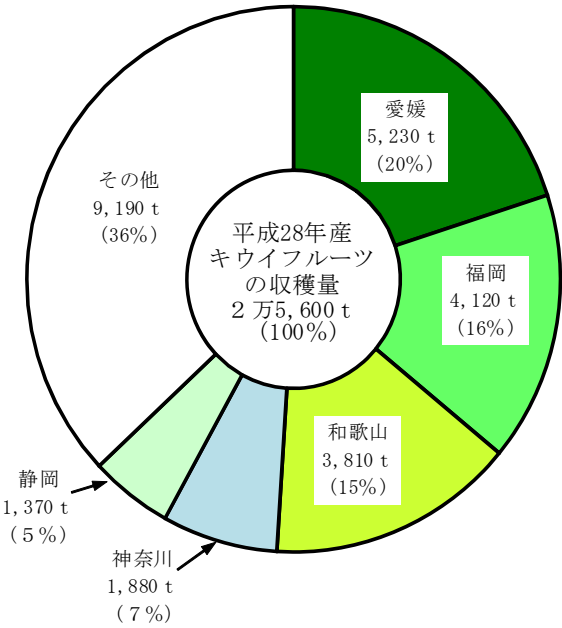


図28 キウイフルーツの都道府県別収穫量



注： 割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表15 平成28年産キウイフルーツの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
キウイフルーツ	2,040	1,250	25,600	21,800	98	94	92	92